

廃業させないまち

とよはし vol.3

令和5年(2023年)9月発行

事業継続と成長を目指す中小事業者のみなさまへ

「とよはし事業承継ひろば」
ホームページはこちら



今回は、新工場設立中の事例紹介

親族内承継

サントアマロ株式会社

概要

社名	サントアマロ株式会社	資本金	300万円
所在地	豊橋市南大清水町字藤ヶ谷 223-2	従業員数	25名
創立	平成9年	事業内容	食肉商品製造・販売



(写真 左：立沢 里枝 営業部長 右：タチザワ ヒデキ 代表取締役社長)

新社長にインタビュー

市：事業承継を意識したのはいつですか？

社長(以下「社」)：入社した時点で、後継ぎのつもりでいました。もともと、日本が大好きで、長期休みのたびに来日していました。当時は、車や工業用ロボットの工業デザインやマーケティングの仕事をしていて、経営に興味があり、父が大切にしている会社を大きくしたいと考えていました。

市：事業承継のきっかけとなる出来事がありますか？

社：これとってないですが、入社して5年経ったころに、父と相談して「そろそろかな」と思い、社長に就任しました。

市：そろそろだと思った理由はどんなことですか？

社：やはり、会長(父)の年齢かな…。会長の年齢が、80歳間近に迫ってきて、お互いに意識していたから、スムーズに承継できたと思います。

市：社長に就任して2年ほど経ちましたが、事業承継はどの段階ですか？

社：全体から見ると、80%くらいだと思います。社長業のトライアル中と言ってもいいくらいですね。実務を引継ぐ上で、家族のサポートがとても重要だと感じています。会長が常にサポートしてくれています。姉(営業部長)は、特に語学の面をサポートしてくれていて、とても感謝しています。

市：事業承継の後押しになったことはありますか？

社：担当してくださっている蒲郡信用金庫 大清水支店の支店長さんに、市の個別相談会を紹介されました。代表者交代の手続きは済んでいましたが、株式譲渡の手続きを専門家に相談したいと考えていた時なので、いいタイミングだと思いました。

市：事業承継について、どのように周囲の方に周知しましたか？

社：まず、家族に。そして従業員の皆さんに伝えました。そこから、お取引先へお手紙を送ってお知らせしました。

市：現在、社長が新たに挑戦したいことはありますか？

社：たくさんあります。できるだけ添加物をカットした新商品の開発に力を入れています。ナチュラル派食品として、より美味しく安全な商品を作りたいと思っています。特に子供たちの食品アレルギー問題を解決する商品開発に力を入れています。

市：オフィスの壁に、子供たちからのお礼のお手紙がたくさん掲示されていますね。

社：よく、近所の小学校や保育園の子たちの工場見学を受け入れています。その時のお礼のお手紙です。子供が好きなので、こういった手紙をもらうと、とても嬉しいです。だからこそ、食品アレルギーで悩む子供たちの問題を解決したいと思っています。それには、現在の工場のキャパシティでは限界があるんです。

市：今現在、新工場を建設中と伺いました。

社：はい。工場を大きくして生産力をアップさせる準備をしています。新工場は来年1月に始動する予定です。

市：事業を引き継ぐ上で、苦労したことはありますか？

社：私の場合は言語です。入社当初は、お取引先との日本語のコミュニケーションに苦労しました。

市：ほかにもありますか？

社：やはり新型コロナウイルス感染症の影響や、ウクライナ情勢による物価高騰のあたりを受けて、少なからず弊社も苦しい思いをしました。それでも、めげずにこれからもいい商品を作りたいと思っています。

市：ありがとうございました。

事業承継の流れ

- 1996年6月 前代表取締役が、ブラジルから来日
- 1997年 サントアマロ有限会社設立
看板商品となる「ちょい辛スモークソーセージ」販売
- 1998年 新商品「ちょい辛生ソーセージ」発売
- 2015年 新商品「ちょい辛乾燥ソーセージ」発売
道の駅とよはしで人気商品に
- 2016年 来日して、サントアマロに入社
- 2020年 代表取締役を、父親から息子へ承継される
サントアマロ有限会社→サントアマロ株式会社に変更
- 2023年3月 今後の進め方について相談
- 2024年1月ごろ 新工場始動予定

市の個別相談会に参加



左) 社長 中央) 梅村氏 右) 佐口支店長

親族内承継を考える方へのメッセージ

代表取締役社長



いつもお世話になっている「がましん」さんからの紹介で、市の個別相談会に出席しました。専門的な手続きについて相談でき、すぐに取り組むべきことが明確になりました。現状の課題や、今後のビジネスにおけるビジョンがクリアになり、新たな取り組みにも積極的にチャレンジしたいと思います。

営業部長



親族内承継には、まわりの人間の理解と協力が必要不可欠だと考えています。サントアマロは、家族をはじめとする従業員や、お客様にも恵まれていたので、スムーズに事業承継が進められたと思います。これからも、社長である弟をサポートして、みなさんに美味しい商品を届けていきたいと思っています。

がましん 大清水支店 佐口支店長



当金庫は、事業承継は中小企業経営者が一人で考える問題ではなく、地域全体の問題と捉え、地域金融機関が積極的に関わっていく事が求められていると考えています。今回、支援センターが実施する専門家派遣を活用させていただいたことで、課題やビジョン、戦略がより明確になり共有できたと思います。サントアマロ(株)様の更なる成長に向けてメインバンクとして末永くご支援させていただきます。

愛知県事業承継・引継ぎ支援センター

当センターは「承継後も持続的発展を遂げることを目的に活動しています。増産に伴う新工場建設プロジェクトが立ち上がっていたことから、組織体制強化や数値計画策定支援に経験と実績のある、中小企業診断士の梅村先生を派遣し、事業承継計画を策定しました。先代が守って来た「安心・安全・良質な素材」と「味」、そして「お客様からの信頼」を引き継ぎ、更なる成長を期待します。

■愛知県事業承継・引継ぎ支援センター 登録派遣専門家 UME 経営オフィス 梅村 薫

事業承継は、株式移転、代表取締役就任の手続きをするだけではありません。前社長が築いたお客様の信頼を引き継ぎ、後継者がどのように事業成長を目指すかが大切です。父である会長の経営理念に共感し、誰よりも努力を惜みず仕事に取り組む後継者(社長)と管理業務を通じて後継者を支える営業部長の想いを伺い、新工場建設プロジェクトを社としたご提案ができました。

豊橋市役所と事業承継「個別相談会」を開催中!

中小事業者の皆さまに、スムーズな事業承継をしていただくために、専門家による個別相談会を開催します。

ポイント① 料金無料

何から始めたら良いのかわからない、どこへ相談すれば良いのかわからない、初めての方も気軽にお申込みいただける無料相談会となっています。

ポイント② プライバシーが守られた個室でマンツーマン相談

安心して相談していただけるように、個室にて個別に相談をお受けします。

ポイント③ 公的機関との面談で安心!

国の公的機関である愛知県事業承継・引継ぎ支援センターによる面談ですので、安心してお話しいただけます。

- 開催日時 毎月 第1・第3水曜日 午前9時半から12時
※上記が祝日の場合は、翌開庁日の開催
- 会場 豊橋市役所 東館 12F 122 会議室
- 対象者 豊橋市内の経営者
または 後継者(親族、従業員、第三者等)
- 相談機関 (経済産業省中部経済産業局委託事業)
愛知県事業承継・引継ぎ支援センター
- 料金 無料
- 申込書 豊橋市ホームページでダウンロード



事業承継セミナー

令和5年3月8日(水)に開催しました!

令和5年9月13日(水)
次回セミナーのご案内

無料

M&A を成功に導く ～PMI について～

人事労務分野の専門家が M&A における PMI の重要性についての講演と、M&A で事業を承継した事業者がパネルセッションで体験について語りました。



事業承継 × 創業 ～とよはしの企業を 受け継ぐということ～

愛知大学経済学部の打田教授を招き、東三河における事業承継の現状に関する講演と、市内の事業承継支援機関による支援策について、パネルセッションで紹介します。



セミナー詳細

令和5年度上半期
事業承継セミナー

事業承継 × 創業

～とよはしの企業を受け継ぐということ～

令和5年9月13日(水) 14時～16時
豊橋商工会議所 9Fホール

第1部 講演「東三河の事業承継」
～現状と課題～
講師：打田 委千弘教授(愛知大学 経済学部)

第2部 パネルセッション
テーマ「事業承継における創業との連携」

主催：豊橋市、とよはし事業承継ひろば 後援：愛知大学中部地方産業研究所

全国初 事業承継・産学官連携します!!!

ポイント①

“産学官”の連携で、事業承継支援を加速!

「事業承継ひろば」と「創業プラットフォーム」の連携に、創業支援に力を入れている市内の大学が新たに加わることで、創業希望者と後継者不在の事業者のマッチング支援を加速します!

ポイント②

創業希望者と後継者不在の事業者のマッチングは両者にメリット!

マッチングによって、創業希望者は、店舗や設備などの経営資源を引継ぐため、創業時のコストを削減でき、後継者不在の事業者は、従業員の雇用を守り、事業の存続を望む取引先の希望に応えることができます。



* 後継者人材バンクとは

後継者不在の中小企業者の存続を図るため、創業希望者と後継者不在の中小事業者とを引き合わせる事業です。